

令和元年度 第5回 宜野湾市子ども・子育て会議

日時：令和2年1月24日（金）14：00～16：00

場所：宜野湾市役所 3階 第三常任委員会室

出席委員：上地武昭会長、岡田洋代副会長、國場福太郎委員、志良堂雅之委員、
比嘉健委員、金城智子委員、甲斐達二委員、知念徳子委員、大城周子委員、
仲村義明委員、名嘉真正明委員

欠席委員：砂川麻世委員、渡久山慎二委員、谷成悟委員、仲田丘委員

事務局：福祉推進部次長、指導部次長、指導課1人、こども企画課6人、
(株)沖縄計画機構2人

- 1 開会
- 2 事務局説明
 - ①第4回子ども・子育て会議議事録について
 - ②基本理念及び基本目標の修正点について
- 3 議事
 - ①施策の内容と重点項目について
- 4 その他
- 5 意見交換等
- 6 閉会

「基本理念及び基本目標の修正」、「施策の体系」、「施策案」、「計画の重点取り組み」、「今後のスケジュール」について事務局から説明を行い議論が行われた。

1 基本理念及び基本目標の修正について

A 委員： 別添資料1 基本目標2の「健やかで切れ目のない子どもの育ちの支援」の「切れる」という表現がどうしても否定的な言葉のイメージがあり気になる。肯定的な「継続的な」などの言葉に言い換えることはできないか。もしくは「妊娠期から健やかで切れ目のない・・・」というように頭に「妊娠期から」を入れるとイメージが沸きやすいかと思う。

事務局： 第1期計画から目標として取り上げられているものとなっており、厚生労働省でも同じような表現になっている。否定的なのかどうかも含め関連する計画の記載内容も確認し、どういう言い回しが良いのか検討したいと思う。

B 委員： 「切れ目」が漢字の記載かどうかは不明だが、「切れ目のない支援」という言葉は文部科学省や教育委員会、国や県においても使っている。

「健やか」が、どこに掛かっているのか不明瞭である。案として「切れ目のない子どもの健やかな育ちの支援」としてはどうだろうか。検討頂きたい。

2 施策の内容と重点項目について

C 委員： 資料 3-2 の 11 ページ「放課後児童健全育成事業の推進」の「放課後児童クラブの待機児童数」について、2019 年度実績が 80 名となっているが、宜野湾市以外の学校に通っていて入所を希望している児童の数値が入っているのか、入っていないのかどちらなのか教えて頂きたい。

事務局： 学童の待機児童については国の基準がなく市町村独自で調査を行っている。宜野湾市では民営や公立の学童クラブに調査を掛け、各学童クラブで把握している申し込みをして保留になっている児童を拾い上げた数値となっているため、市外の学校に通っている子が含まれているかということまでは把握していない。

C 委員： 資料 3-2 の 12 ページ「特別支援保育・特別支援教育の推進」の「特別支援保育の入所率」について、実績値が%になっているので具体的な数値を教えて頂きたい。

事務局： 平成 31 年度（令和元年度）の特別支援保育の入所率については、全体で加配を判定したお子さんは 134 名で、その内 8 名が入所に至らなかったため入所人数は 126 名となっている。

D 委員： 資料 3-2 の 2 ページ 基本施策 1-2-3「認定こども園への移行促進」について、県外の自治体では認可保育園から認定こども園へ移行し、認可保育園が空いてきている現状があるという話を聞いた。宜野湾市や沖縄県全体においても同じようなことが予測されることから、「移行促進」という表現はどうか検討した方が良いと思う。

事務局： 市としては、認定こども園へ移行したいという施設があれば支援をしていくという立場で考えている。

D 委員： 「促進」を「支援」に変更することは可能なのか。

事務局： どういった形で記載するか検討したい。

E 委員： 資料 3-2 の 12 ページ「特別支援保育・特別支援教育の推進」の「特別支援教育の利用者満足度」について、出典と実数が知りたいのと、満足度で「不満」や「やや不満」など、どういった項目で拾った項目なのかを教えて頂きたい。

事務局： 75%は目標値で今年度の数値は調査中となっている。特別支援教育を実施している学校に対してのアンケート結果、および特別支援員の支援を受けている保護者に対するアンケート結果の満足度になっており、規模的には市内の全学校と支援を受けている子の約 200～300 名が対象となっている。

A 委員： 資料 3-2 の 4 ページ 基本施策 1-4-4「ファミリー・サポート・センター事業の充実」について、ファミリー・サポート・センターの利用料金は 600 円となっている。例えば宜野湾市の端から端まで移動するにも時間が掛かってしまい、近隣の市町村の施設を利用すると 300 円の追加が出てしまう。その辺を検討して頂きたい。

事務局： どのような形でできるかすぐに回答はできないので意見として伺っておきたい。

F 委員： 資料 3-2 の 2 ページ 基本施策 1-3「教育・保育施設における子育て支援サービスの充実」について、保育所は最初の面談では土曜日の預かりも大丈夫とのことだったが、実際にはサービスが充実していないなどの声を聞く。今後サービスとして行き届くのか。

事務局： 対応については各施設で行っている状況である。保育園や保育士としては、土曜日においては家庭で触れ合ってもらいたいという気持ちもあるかと思う。サービスとしては土曜日についても開所はしており実施しているとの認識をしている。

会長： 施策内容と重点項目について、一部修正はあるが事務局の提案どおり進めて良いか。

委員一同： 事務局案を承認する。

3 その他（今後のスケジュールについて）

事務局： 次回の会議は2月19日の開催で、議論する計画案については基本理念、基本目標、基本施策、教育・保育の見込みと確保方策、支援事業の13事業、アンケート結果等を全て整理したものであり、これまでの会議で皆さんで審議したものを一つに取りまとめたものになる。

なお、計画案を庁内で確認後、委員の皆さんへの資料提供と同時にパブリックコメントを実施し、2月19日の会議では当日までのパブリックコメントの結果についての報告を予定している。

また、次回会議後の計画案の最終確認については、会長と事務局に一任して頂きたい。

委員一同： 了承する。

事務局： これをもって本日の会議を閉会する。